



3月26日 キャンナス倉敷が発会式

3月26日に岡山県で148番目のキャンナス倉敷の発会式がありました。代表は大内由紀さんです。お祝いに、キャンナス岡山の代表玉谷さん、真備支援で出会ったナースの片岡さん、Facebookで繋がったナースの内間さんが、駆けつけて下さいました。ありがとうございます。そのほかにもご参加いただき、とても感謝しております。岡山県で立ち上げ希望のナースや東京からも駆けつけてくれ、いろいろな話が出来て、とても楽しい発会ができました。

菅原由美代表Facebookより抜粋



衆議院議員の柚木道義氏、市議会議員の齊藤武次郎氏にも駆けつけていただきました

発行：ナースケアグループ  
 発行人：菅原由美  
 発行日：2022年5月20日  
 〒251-0025  
 藤沢市鶴沼石上1-6-1  
 法華ホテルB1  
 tel0466-26-3980  
 fax0466-25-8111

(有) ナースケア  
 (有) フラワーケア  
 NPO法人キャンナス

ナースケア  
 ニュース  
 2022.No.5  
 vol.127

# Nurse Care

## 目次

新人ナース紹介  
 事業所だより



## 「キャンナス」とは

英語の「できる (can)」と「看護師 (nurse)」の造語。在宅介護で苦勞した看護師の菅原由美が資格を地域に役立ててもらおうと1997年に立ち上げた全国訪問ボランティアナースの会が始まりです。ナースケアグループの原点です。

全国の拠点：148ヶ所  
 (2022年4月末現在)

## 在宅での希望を叶える ケア+αのサービス

今月のトップ記事はナースケア湘南訪問看護ステーションから素敵なお花見の紹介です。



桜満開のある日、101歳のご利用者が看護師同行のもと、お孫さんとお花見をしました。

「おばあちゃんに桜をみせてあげたい」きっかけは、お孫さんの一言でした。そこからケアマネジャーも交えてカンファレンスを開き、ご利用様のADL、住宅環境から当日までに必要なリハビリ、福祉用具の準備、環境に配慮した介助方法の打合せ・リハーサル、スケジューリングなど、準備を十分に整え当日を迎えました。

お孫さんが用意してくれた好きなおやつや飲み物を召し上がり、お花見気分も盛り上がり、ご利用様が昔の出来事などを

笑顔でお話しくださる場面もありました。ご利用者様、ご家族様の許可をいただき、写真を紹介いたします。とても明るい表情で予定よりも長い時間車椅子に座ることができ、いつも以上にお元気な様子でした。日々の生活を支えるだけでなく、ご本人様やご家族様が望まれる想いを汲み取り、どのようにすれば実現できるかを考え、ケア+αのサービスをさせていただく。私たちナースケアのスタッフにとっても、大変貴重で充実したひとときを過ごさせていただきました。

(訪問看護ステーション 山口 侑子)

## ナースケアグループ直近3カ月の介護・看護サービス利用実績

	2月	3月	4月	新規	サービス提供エリア
訪問看護	112	124	124	▲	藤沢市、鎌倉市
訪問介護 鎌倉事業所	26	26	22	○	鎌倉市
居宅介護支援 湘南事業所	25	23	23	▲	藤沢市、鎌倉市
居宅介護支援 鎌倉事業所	61	61	64	▲	鎌倉市
小規模多機能型居宅介護「絆」	17	16	17	◎	藤沢市
定期巡回随時対応型 訪問介護看護 湘南事情所	20	21	20	◎	藤沢市
定期巡回随時対応型 訪問介護看護 鎌倉事業所	9	9	7	○	鎌倉市
ウェルライフヴィラ湘南ちがさき 内訪問介護事業所	25	25	23	◎	高齢者住宅所在地・茅ヶ崎市
ウェルライフヴィラ海老名こまち 内訪問介護事業所	32	32	31	◎	高齢者住宅所在地・海老名市 フラワーケアがサービス提供

◎十分余裕あり、○余裕あり、▲残り僅か、詳細はご相談ください、×あいにく一杯です。  
 総合問い合わせ窓口：0466-26-3980



# 男性ナース2人が仲間になりました

春は出会いと別れの季節。ナースケアー湘南訪問看護ステーションにも、2人の新人をお迎えしましたので、紹介いたします。

働き心地はどうか？

質問しやすい雰囲気、どんなことでもすぐその場で丁寧に教えてくれるので助かります。



ほやほやナースの近藤さん

コミュニケーションがよくて居心地が良いです。

2児のパパ、加藤さん

厚生労働省の統計によると、仕事についている看護師は122万人いて、そのうち男性は10万で約8%。まだ、少数派ですが、10年前は5万人だったのに比べると、人数の上では2倍。看護師もジェンダーフリーな職業に向かいつつあるようですね。では、まず近藤章太(33)さん。この3月に国家試験に合格したばかりのほやほやの新人さんです。「20代でやりたいことはやれたので、30代には人生を変えようと思って資格取得を決意しました」。大学卒業後は、調味料などの販促用の料理のレシピをつくる仕事をしていました。実習先だったナースケアーで訪問看護の魅力に触れたのが就職のきっかけです。取材時は就職してから2週間目。「訪問看護は、ご自宅に訪問して、わずかの時間で情報を得なければならないのですが、それがとても難しいです」。

加藤経法(35)さんは、近藤さんよ

り一足早く1月からの勤務。半袖から除く二の腕がムッキムキなのが印象的。現在も週3回のジム通いで鍛えているそうです。近藤さんより一足早く昨年の国家試験に合格し、病院勤務をしていました。知人が実習に来ていて、よかったよと紹介を受け、ナースケアーにつながりました。「訪問看護は、病棟での仕事に比べると訪問看護は一人一人に合ったケアができるところがやりがいがあります。」小学生女の子と男の子の2児のパパです。前職は介護職をしていました。介護職では、できる仕事に限られてしまうと、家族を抱えての人生の進路変更。社会人卒の入試の時は、「人生で一番勉強」したそうです。すごいガッツ。いずれ自分の訪問介護ステーションという夢に向かって、一步ずつ着実に歩み始めている。お二人です。どうぞよろしく願いいたします。



合格した自分へのご褒美  
トライアンプ(加藤さん)



## マスクのパーツだって 芸術作品になるんです



今回はウェルライフヴィラ湘南ちがさきの美術担当?!岡田様を紹介します。

コロナ禍で面会謝絶となり、思うように外出したりご家族と会えない日が続いた頃、1枚の絵を見せてくださいました。蜘蛛(コロナ)と猫(高齢者)、見守る黒猫(スタッフ)の絵です。蜘蛛の巣に身動きのとれない猫の姿に大きな衝撃と感慨深い気持ちになりました。

最近の岡田様は、使い捨てマスクの鼻部分に入っている



ワイヤーを利用した立体の作品を制作しています。最初は、何かを結束するために利用しようと思った使用済みのマスクから取り出しストックしていたとのこと。意外と短いワイヤーで大変なんだよとお話されましたが、とても器用に編まれています。

優しい岡田様らしい作品です。ぜひ近くで見てくださいたい作品です!

(ウェルライフヴィラ湘南ちがさき 和田迫紀子)

## 8年経って看板もリニューアル、ランチにどうぞ



本部の隣にオープンして、8年もの月日が経ってしまいました。コロナ禍で、泣く泣くお休みをしましたが常連のお客様はコミカフェを忘れず再開後も毎日のように足を運んでくださり、ご予約のお電話も頂きます。長年使用してありました看板も疲れてきたのか故障箇所が目立つようになりましたが、手直しをして頂き、とても可愛い看板に

## TDR推しのケアマネです

湘南の居宅介護支援事業所です。宜しくお願ひ致します。私(磯崎)と菅原代表2名で活動しております。介護保険サービスだけではなく、医療保険や障害福祉サービス・その他の保険外サービスも利用しながらご利用者の目標を叶えるためのケアプランをご利用者様と一緒に作成いたします。介護に関する事でのご相談がありましたらお気軽にお問ひ合わせください。

私が大好きなディズニーリゾートの写真を載せてもらいました。すご〜く行きたい〜。まだまだコロナが落ち着かず大変な日々ですが、また普通に旅行や遊びに行ける日々が戻ってきますように。



(湘南居宅介護支援事業所  
ケアマネジャー 磯崎千帆)

変身しました。お立ち寄りの際はご覧ください。「小規模多機能「絆」のご利用者様からランチのご注文があり、召し上がっていただいております。お店のお客様同様、身体にやさしく、お味も出来る限り薄味を旨ざしスタッフ一同頑張っております。(コミュニティカフェふらっとステーション・ふじさわ 中村亜希子)